

## 大野城市共働事業提案制度 事業評価及び意見集約表

事業名：子どもたちの夢と希望を醸成する子どもの居場所づくり事業

実行委員会名：子どもの居場所づくり事業実行委員会(特定非営利活動法人チャイルドケアセンター、子ども・若者政策課)

評価項目		評価点	評価	推進委員意見
共働の必要性	市民への効果	17.50 / 25点	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的に取り組んでいる部分もあり、市民の声も記載があるため効果は出ている部分もあると感じる</li> <li>・子ども食堂が増え、参加者が増えている。ただし、本来の目的であるこどもの貧困解消が進むのかまだ見えない。</li> <li>・アンケート未実施のため直接的な市民への効果は見えずらい。</li> <li>・テーマに対して、間接的なアプローチではあるが一定の効果は見込まれる。</li> </ul>
	共働の相乗効果	19.25 / 25点	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あると思うが市側の役割が見えにくい。</li> <li>・市と共働して、子ども食堂支援(予算支援など)がなされている。</li> <li>・現場と情報共有を行い、重層的支援会議につながったケースが増えれば期待できる。</li> <li>・重層的支援会議へのケース情報提供など団体が現場で得たものを市が関係先へつなぐなど効果は見られた。</li> </ul>
	共働事業の実施過程	19.00 / 25点	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に市側の役割分担(姿勢)が見えにくい。</li> <li>・重層的支援会議などの検討する体制ができましただけでなく、実際にこの共働事業で取り組んだことで必要な人に支援などが届いたなど今まで市だけではできなかったことができたなどの成果があるとよい。</li> <li>・市と団体が共働で実施する姿勢がある。</li> <li>・重層的支援会議などの体制づくりだけでなく、問題解決にしっかりとつなげてほしい。</li> <li>・市が持つ関係機関との調整力と団体のこれまでに蓄積してきたノウハウなどをうまくつなげて役割分担されている。</li> </ul>
事業の実現性	目的・目標の達成度	15.75 / 25点	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルは作成している。アンケート結果はなし。</li> <li>・課題に対して、仮説を立てるなど対応策を検討してほしい。</li> <li>・子どもの貧困解消の評価を行ってほしい。</li> <li>・子ども食堂自体は増えており、目標は達成できている。</li> <li>・マニュアル作成、子ども食堂は実施しているが、アンケート未実施であり子どもの貧困解消にどれだけ効果があったかは判断が難しい。</li> <li>・マニュアル作成、コーディネーター配置など一定の目標は達成されている。</li> </ul>
	※事業の発展性(波及効果)	2.00 / 10点		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども食堂は発展の可能性あり</li> <li>・コーディネーターやひとり親家庭へのアウトリーチ型支援は、今後の発展性に期待できる。</li> </ul>
	※事業の再現性(スキームの確立)	3.00 / 10点		<ul style="list-style-type: none"> <li>・構築しつつあるが未確立の部分もある。</li> <li>・ネットワーク会議やコーディネーターの設置など新たな仕組みができつつある。</li> <li>・ネットワークづくりやコーディネーター設置など新たなスキームが確立された。</li> </ul>
総括		76.5 / 120点	B	
次年度に向けた意見				<p>事業の目的であるこどもの貧困問題の解消にどのくらい効果が出ているのかが見えていないため、重層的支援会議から何件のケースが解決につながったのかなど、貧困問題の解消につながったとわかるような定量的な指標を設けてもいいのではないか。今後の課題に対してのどのように対応していくのか明確にされていないため、今後の継続審査でも実施した取組等については確認していく必要がある。</p>

※項目は、加点項目